

三浦正幸氏講演会

開戦前から決していた関ヶ原の勝敗

～美濃・尾張12城の調略と落城～

関ヶ原前哨戦における美濃・尾張の城について、それぞれの城の構造を紹介しつつ、大垣城に進出した石田三成が、いかに東軍に圧迫されていたかを解説します。

取り上げる城は、福束・今尾・松ノ木・加賀野井・竹ヶ鼻・高須・津屋・駒野・玉・菩提山・犬山・岐阜の12城と美濃金山城で、それらが総て東軍の手に落ちた時、西軍の本拠大垣城が東に突出し、孤立しかかっていました。新たな視点から見る関ヶ原の戦いです。

- 日時 令和7年11月30日(日)
- 時間 13時30分～15時00分(開場12時45分)
- 会場 関ヶ原ふれあいセンター大ホール
(岐阜県不破郡関ヶ原町関ヶ原894-29)
- 参加費 無料

定員
400名
※事前予約
※先着順

講師 三浦 正幸 (広島大学名誉教授)

(経歴)

1954年愛知県名古屋市生まれ。東京大学工学部建築学科卒業、工学博士(東京大学)、一級建築士、専門は日本建築史・城郭史・文化財学。日本伝統建築技術保存会特別会員の他、数々の史跡整備委員会の委員等を務める。

大河ドラマ「どうする家康」、「豊臣兄弟!」などの建築考証を担当する。「歴史探訪番組レキトビラ」(YouTube)にも多数出演

(著書)

『図説近世城郭の普請 縄張・城下町編』(原書房2025)『図説近世城郭の普請 石垣編』(原書房2024)、『天守～芸術建築の本質と歴史～』(吉川弘文館2022)、『図説近世城郭の作事 天守編』『図説近世城郭の作事 櫓・城門編』(原書房2022)など著書多数



申込
方法

申込方法/記念館HPまたは往復はがき

申込締切/令和7年11月23日(日)※定員になり次第、募集を終了します。

※詳細は記念館HPをご覧ください。

(<https://sekigahara.pref.gifu.lg.jp/news/p7895/>)

申込ページ



関ヶ原研究会情報発信事業

【行事名】

関ヶ原研究会情報発信事業三浦正幸氏講演会

「開戦前から決していた関ヶ原の勝敗

～美濃・尾張12城の調略と落城～

【期間】

11月30日(日)

【場所】

関ヶ原ふれあいセンター大ホール

【情報保障】

手話通訳 あり

【事前申込】

事前申し込み必要